

# 「8強の壁越えたい」

全国高校  
サッカー

## 長総大付が壮行会

第100回全国高校サ  
ツカー選手権（28日）来  
年1月10日・首都圏）に  
出場する長崎総合科学大  
付の壮行会が17日、長崎  
市の長崎総合科学大体育



生徒らの拍手の中、県予選の優勝旗を掲げて入場する  
長崎総合科学大付の選手たち―長崎総合科学大体育館

館で行われ、児玉勇翔主  
将が「県の代表としてし  
っかり戦う」と健闘を誓  
った。

約250人の全校生  
徒、教師らの拍手に迎え  
られて選手たちが入場。  
映像で県大会の戦いを振  
り返った後、松本浩校長  
が「あと2週間足らずで  
本番の舞台が待ってい  
る。万全の状態で臨んで  
ほしい」、渡邊頌大生徒  
会長が「これまで支えて  
くれた先生、仲間に感謝  
しながら、楽しんできて  
ほしい。長崎から応援し  
ている」と激励した。

壮行会后、児玉主将は  
「先輩がつくった（チー  
ム最高成績の）ベスト8  
の壁を越えたい」と気を  
引き締め直していた。

長総大付は29日の1回  
戦（12時5分・駒沢陸上  
競技場）で北海（北海道）  
と対戦する。（則行優志）

# 「8強の壁 乗り越えたい」 長崎市長に活躍誓う

第100回全国高校サッカー選手権（28日～来年1月10日・首都圏）に県代表として出場する長崎総合科学大付の選手らが6日、長崎市役所を訪れ、児玉勇翔主将が「まずは初戦を突破できるように頑張って、8強の壁を乗り越えたい」と抱負を語った。

長総大付は11月の県大会決勝で、昨年敗れた創



全国大会に向けて意気込みを語った長崎総合科学大付の児玉主将（右）ら  
＝長崎市役所

成館にリベンジを果たして2年ぶり8度目の出場権を得た。12月29日の1回戦で北海道代表の北海道と対戦する。児玉主将は「全員守備でボールを奪って、全員攻撃したい」と意気込んだ。

対応した田上富久市長は「大会ができてよかった。思い切り走り回ってほしい」と激励し、奨励金を手渡した。（中島宙）

第100回全国高校サッカー県大会

# 長総大付 2年ぶりV



第100回全国高校サッカー選手権県大会は14日に決勝が行われ、長崎総合科学大付が2-0で創成館を破り2年ぶり8度目の優勝を果たした。優勝トロフィーを掲げて喜ぶ長崎総合科学大付の選手たち

＝諫早市、トランスコスモススタジアム長崎（濱崎武撮影） 【記事は14面】

# 高校サッカー県大会 長総大付V

## 創成館に2-0

# 冷静にリベンジ

第100回全国高校サッカー選手権大会最終日は14日、諫早市のトランスコスモスタジアム

長崎で決勝が行われ、長崎総合科学大付が創成館を2-0で下して2年ぶり8度目の優勝を飾った。長総大付は全国高校選手権（12月28日開幕・首都圏）の出場権を獲得した。

昨年の決勝と同カードとなった一戦は、長総大付が押し込み、創成館がはね返す展開。長総大付は前半12分にFW西岡がミドルシュートを放ち、27分にもFW西岡がゴール前に抜け出すなどチャンスをつくったが、いずれも創成館のGK永田に防がれて0-0で前半を折り返した。

後半4分、長総大付は選手交代に伴い、前線の配置を変更。これが的中して、10分に右サイドから左に移ったFW西岡のクロスにMF高良が左足で合わせて先制した。創成館も14分にFW山崎がゴールネットを揺らしたが、MF村田のラストパスがオフサイドの判定。逆に長総大付はロスタイム、左サイドのコンビネーションからFW西岡が2点目を奪って勝利を決定づけた。（中島甫）

▽決勝  
長崎総合科学大付 2-0 創成館  
▽得点者【長】高良、西岡

【評】終始優位に試合を進めた長崎総合科学大付が、後半の2ゴールで快勝した。長総大付は早い時間帯からプレス守備を発動。球際やセカンドボールへの反応で上回りに決まられて苦しんでいた。



【決勝、創成館一長崎総合科学大付】前半31分、長崎総合科学大付のFW西岡（左から2人目）がシュートを放つ。MF高良（中央）が先制点を決めて喜ぶ。

## 名将・小嶺監督 納得の仕上がり

チャンスを生かせずに0-0で前半終了。どちらかといえば、守り勝ちの印象。同カードだった昨年の決勝もスコアレスのまま延長にもつれ、終了間際の失点で5連覇を逃している。

### ハイライト

「思っように点数は取れなかったけれど、相手はどう来ても自分たちのやり方を変えず、冷静に戦えたあたりは成長だね。強いチームはそれができる」と小嶺監督。100回目の冬に挑む長崎県代表校は、名将の納得できるチームに仕上がっている。（中島甫）



【決勝、創成館一長崎総合科学大付】後半10分、長崎総合科学大付のMF高良（中央）が先制点を決めて喜ぶ。

## 全国初戦は北海（北海道）と

第100回全国高校サッカー選手権（12月28日～来年1月10日）の組み合わせ抽選が15日、オンライン戦（東京・駒沢陸上競技場）で行われ、長崎総合科学大付は29日午後0時55分キックオフの1回戦（東京・駒沢陸上競技場）で、2年ぶり11度目の第96回大会の8強。第97回大会も3回戦まで進んだ。今回も小嶺忠敏監督の指導の下、上位を狙える力をつけてきている。

北海は17年ぶりの白星を目指す。U-22日本代表MF松木政生らを擁して前回優勝の青森山田は、初戦の2回戦で大社（島根）と対戦。東京・国立競技場で開会式の後に進行される。選手宣誓は高川学

る開幕戦は関東第一（東園（山口）の奥野奨太主将が務める。来月5日に茨城代表が決まり、全48校が出そろった。国立競技場の使用は2が行われる。

## 上位進出可能性十分

○：長崎総合科学大付の初戦の相手は北海に決まった。堅守をベースに、北海道予選を接戦続きで勝ち上がり、決勝もPK戦の末に11度目の全国切符を勝ち取ったチーム。長総大付の主将、DF児玉は「北海道の常理チームなので、しっかりと準備をしてチャレンジャー精神で臨みたい」と意気込みを語っていた。

トーナメント表: 第100回全国高校サッカー選手権の組み合わせ表。各都道府県代表校の対戦相手と試合日時が記載されている。

○：長崎総合科学大付の初戦の相手は北海に決まった。堅守をベースに、北海道予選を接戦続きで勝ち上がり、決勝もPK戦の末に11度目の全国切符を勝ち取ったチーム。長総大付の主将、DF児玉は「北海道の常理チームなので、しっかりと準備をしてチャレンジャー精神で臨みたい」と意気込みを語っていた。